

書類が激減するだけでなく、保険証の準備もスムーズに。 入職手続の Web 化はメリット大。

学校法人浪速学院 浪速高等学校・浪速中学校 様

レーザー〈学校給与〉、レーザー〈人事管理〉とオプション製品である「労務手続」を同時に導入。導入3か月目ですでに使い勝手の良さを実感。特に、「労務手続」の入職手続機能は大変便利でぜひ他校にもおススメしたい。



<https://www.naniwa.ed.jp/>

レーザーをお知りになったきっかけを教えてください。

既存システムの不満から給与システムの入替えを考えていました。学院ではすでにレーザー〈学費管理〉システムを導入していて、その担当者からレーザー〈学校給与〉システムも人気があるということ聞き、Webサイトを拝見しました。

既存システムの不満というのは、どういった点だったのでしょうか？

学院がシステム化としてはじめて導入して以来長年利用されてきましたが、雇用保険の算出機能の対応終了、eLTAXの出力数制限、さらに給与のデータを入れているにも関わらず出したい帳票が非対応など、さまざまな機能が不足していてExcelと並行稼働していました。システムのインポート機能が不十分でひとつずつ手打ちする作業もあり、さらにExcelも同時に更新する必要がありますのですが、更新漏れのまま他の担当者がExcelの古い情報を利用して作業をしてしまうこともありました。

給与システムをメインで探されていたんですね。レーザー以外にも検討されましたか？

給与システムの入替えが最優先でしたが、給与と人事労務を別々に管理するのではなく、同じシステムで運用管理したいと思っていました。展示会にも出向いて探していたのですが、一般システムでは私学共済に対応していないので、学校法人向けのシステムである点、人事と労務に対応している点を重視し、レーザーともう1社に絞って比較検討することにしました。

学校法人向けシステムの方が運用はしやすいですね。

レーザー製品で特に興味をもたれたのはどの機能でしょうか？

「労務手続」では入職手続と雇用保険の電子申請です。レーザー〈学校給与〉システムでは、給与作成時に介護保険料など社会保険料の自動チェック機能があり、eLTAX 対応、支払調書作成など欲しい帳票の出力機能が全部備わっていました。年末調整電子申請についても導入されてから年数が経っていることも安心でき、デモンストレーションを見て操作もしやすいように感じました。

最終的にレーザーを選んでいただいた理由をお聞かせください。

まず導入校が多い点、それと Web に掲載されている導入事例も拝見して安心感を持ちました。担当営業さんに実際導入されている学園様のお話を直接聞きたいと相談したところ、すぐに訪問を手配してくださいました。また、他の質問に対してもすぐにお返事いただける対応の早さと、ちょうど「労務手続」もリリースされるというタイミングの良さもあり、レーザーに決めました。



導入事例や導入校のお話が
大変参考になりました。
このインタビューも導入を検討
されている学校の参考になればと
思います。

レーザーシステムの導入を推進された
給与・労務担当の池崎様

導入するにあたって不安な点や工夫されたことはありましたか？

「労務手続」に関しては新製品のため、初めて利用する学校だとお聞きしたので不安でした。「入職手続」の入力項目は学院で設定できるので、設定後に数名で実際に入力をしてみて、質問が出そうな箇所を洗い出しました。導入担当者の方にも相談させていただきながら、わかりやすい入力画面を作り上げていった感じです。

1月の学校訪問時に入職者全員にログインまでの説明を行い、学院で作ったマニュアルを渡したことで、何も問題なく終わることができました。例年だと3月に入ってから回収していた書類を2月中にはほぼすべての入職者の Web 提出が完了しました。

例年よりも早い準備となりますが、この点について不都合はないのでしょうか？

問題ありません。むしろ早く情報を集めることができるので、確認作業も早めに進めることができ、労務関連の業務を前倒しで行うことができます。来年以降も今年と同じスケジュールで実施する予定です。

これまでは用紙を回収して、システムで手入力されていたのですね？

そうです。従来は3月の来校時に提出していただくのですが、入職手続書類は一人につき10種類ほどあり、入職者の数が多いときは何百枚という書類を同時に受け取ることになります。記入時にわからない箇所を事前に電話で確認するのではなく、提出時に質問しようと空欄にしたまま持参する方も多く、殺到する質問に対応したり、書類の仕分けだけでも時間がかかり、毎年入職手続は残業しないと業務が終わりませんでした。

用紙を利用していた時の入職手続書類

Web化で必要なくなった用紙

- ・ 給与振込依頼書
- ・ 労働者名簿に必要な履歴
- ・ 個人番号届出書
- ・ 職員住所録
- ・ 雇用保険資格取得届
- ・ 通勤手当認定申請書
- ・ 私学共済 扶養申請書
- ・ 扶養控除申告書
- ・ 資格取得報告書

用紙提出が必要なままの書類

- ・ 卒業証明書、成績証明書
- ・ 健康診断結果、領収書



何百枚の書類対応は大変ですね。Web化によって業務は効率化できましたか？

はい。紙で提出してもらっていた時は、提出日から2日ほどは書類のチェックと入力作業で入職手続業務だけに時間を取られていましたが、その2日分の作業がなくなったと言えます。

Web提出されてきたらパソコン上で承認者が確認できるので、用紙を机いっぱい広げてチェックしたり、承認依頼のために用紙をあちこち移動したりする必要がありません。

入職者に送る用紙の準備や郵送の手配も意外と時間がかかっていましたが、ペーパーレス化でき、加えて提出後の書類の保管や管理といった作業もなくなりました。

ペーパーレス化で数日分の作業が削減できたのですね。

以前のシステムで不満だった点についてもレーザーでは解決できましたか？

これまでマイナンバーも Excel 管理していましたが、今はレーザーのクラウドに格納しています。帳票出力についてもレーザーだけで完結できるので今後は Excel での管理が不要になります。情報が分散していると問題も起こりやすいですが、レーザーで情報を集約できるのは管理の面でも負担が減ると思います。

他にも業務改善につながった機能はありますか？

インポート機能がさまざまな形式に対応していて便利です。これまでは全員分の氏名、住所、生年月日、在籍情報、共済情報雇用保険情報を手入力していたので入力ミスも起きていました。レーザーでは本人に入力してもらった入職手続の情報をそのままインポートできるので、これまでかかっていた登録時間も削減されます。

作業時間と人的ミスの削減に貢献できてよかったです。

「労務手続」を利用された入職者の方の反応はいかがでしたか？

便利だという好意的な意見をたくさんいただきました。今年採用の中に 60 代の方がいて、Web 入力に対して抵抗があるのではないかと少し心配していたのですが、特に質問もなく提出されたので、入力しやすいシステムなのだと思います。

Web では入力しないと提出できない仕様のため、入力内容について不明点があればすぐに問い合わせてもらえるので、学院としても速やかに解決できてよかったです。

入職者様のご感想



レーザーの「労務手続」を利用して
スマホから書類提出された水野様

スマホで入力できるのは大変便利です。マニュアル通りに進めて問題なく入力できましたが、わかりやすい画面なのでマニュアルがなかったとしても難しくはないと思います。所要時間は 20~30 分ほどでした。手書きよりも楽ですし、エラー表示で入力漏れに気づけてよいと思います。日常でもスマホで入力することは増えていて、前職でもペーパーレス化が推進されていたので、書類を用紙でなくスマホ提出することへの懸念などはありませんでした。

問い合わせが入ると対応が大変なのではないですか？

たとえば、個人番号を受け取りに行っていない、紛失したなどの場合もこれまでは3月の来校時に記入が抜けている箇所を指摘して、それから市役所へ取得しに行ってもらうなど、提出日に書類が完全に揃っていないことも多々ありました。ですが、電子申請は入力しないと次に空進めることができないので、不明点を連絡してもらえれば不足分もすぐに用意してもらえるのでスムーズに情報を収集できます。

前倒して情報収集するメリットはなんですか？

私学共済の事前申請を利用することができ、入職の頃に保険証を準備できるようになったことです。私学共済の申請書は事務担当者が代筆できるので、社会保険に必要な基礎年金番号や私学共済の加入歴などを「労務手続」の入力項目に入れました。Webで入力してもらった内容を見て、3月1日開始の事前受付に間に合うように郵送できたので、これまで5月のGW前後に届いていた保険証が入職時には配付できるようになりました。入職者にとっても早くに保険証が届いたほうが便利なので、これは大きなメリットでした。



全員分を代筆する手間がかかるのでは？

提出してもらった内容を画面で見ながら手分けして記入するだけなので、大した作業ではありませんでした。

これまでは他の書類と同じく入職者に用紙記入してもらい3月に提出してもらっていたのですが、提出日の時点で年金手帳が見当たらず年金番号が記入できていないとか、記載ミスなどもあったので、それなら、必要な情報だけをWeb入力で埋めてもらって事務のほうで代筆するほうが手間が省けるように感じます。

他にはどういった利用を予定されていますか？

外部指導（顧問）の方向けに入職手続機能の利用を想定しています。こちらの提出書類は3枚ほどですが、人数が多いのでWeb提出していただく予定です。

身上変更の機能はまだ使っていませんが、職員は200名ほど在籍しており毎月何件かの変更は発生するので、こちらも今後Webでの申請に切り替える予定です。

帳票でいえば、雇用保険被保険者資格取得届は紙で申請する必要がないので、これも「入職手続」で必要な情報だけを入力してもらっておけば、こちらで電子申請の準備ができるので楽になると思います。

機能についてご意見、ご要望があればお聞かせください。

「労務手続」は承認や再入力依頼時に気になる点があったので改善いただけたらと思います。インポートでは雇用保険の資格取得申請に必要なデータも取り込めたら楽になると思います。退職手続に関する機能も追加されると助かります。また、常勤講師や非常勤講師の契約書作成、締結の電子契約機能もあれば助かります。

〈学校給与〉システムは、社会保険料で70歳になった際のアラート機能の追加です。

機能改善・機能追加の参考にさせていただきます。

最後に、他校へおすすめてできる導入メリットについてお聞かせください。

入職手続のスマホ入力は複雑ではないので、質問はほとんどありませんでした。Web化することで早めに申請でき、4月入社 of 慌ただしい時期には入職手続業務が完了できました。新年度が始まる頃に保険証が届くのは、入職者にとってもよいと思います。これまで給与案内を別途送っていましたが、ひとつのサイトで利用できるのも良い点だと思います。

また、クラウド保存は一元管理できて大変便利です。今はマイナンバーカード、身元証明、キャッシュカードもしくは通帳のコピーを保存していますが、今後は自転車保険の保険証券もスマホで添付していただく予定です。

本日はお時間いただきありがとうございました。



浪速学院は大正12年の開校以来、「神社神道」を建学の精神としてきました。神道の授業では参拝の作法も学びます。

2016年に校内に造営された新学院神社